

# Takatori IR REPORT



## 第69期 株主通信

2024年10月1日～2025年9月30日



株式会社 **タカトリ**  
The Power of "T"  
Technology Trust Teamwork

証券コード：6338

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度の実績は、損益面につきましては、製造コストの低減及び諸経費の圧縮に努めてまいりましたが、EV（電気自動車）市場が世界的な成長の踊り場に差し掛かっている影響によりパワー半導体向けSiC材料切断加工装置の受注・販売が予想以上に低調に推移いたしました。

なお、当連結会計年度の株主配当金につきましては、前年度と同様に1株当たり40円の期末配当を実施いたしました。

翌連結会計年度の当社グループが関わる電子部品業界につきましては、半導体市場では、米国の関税政策による影響が現時点では不透明な状況にありますが、サーバー・ストレージ向け生成AI用高性能半導体の出荷量が急拡大しており、GPUを始めとする先端ロジックやHBMが市場の成長をけん引するものと見込まれております。そのため、これらの高性能半導体の生産に求められる装置需要が今後も伸長することが期待されております。新素材加工機器では、中国SiCウェハメーカーの乱立による過剰生産により市場在庫が多く発生し、主流の6インチウェハは大幅な価格低下に陥っております。在庫解消は2025年末頃と予想されており、その後の市場回復を待っている状況ですが、生産ペースの回復後も既存装置の活用が見込まれており、8インチSiCにおいても量産化体制の構築中であることから新規装置販売は厳しい状況が予想されております。ディスプレイ市場では、車載用、携帯端末用や、AR・VR等のXRデバイス用パネルの需要増加を受け、市場拡大が続く見通しとなっております。特にOLEDパネルが市場拡大をけん引し、OLEDパネル生産用の装置需要も伸長する見込みです。生産国別では、日本・韓国・台湾のメーカーシェアが縮小する一方、ディスプレイ業界における中国パネルメーカーの存在感が高まっております。

繊維機器市場では、国内小売アパレル市場に回復傾向がみられる一方で市場全体の縮小傾向が長期的に続いており、縫製工場は減少の一途をたどっております。一方で、国内生産が



代表取締役社長

増田 誠

不可欠な防衛装備関係や学生服向け製品への需要の増加がみられており、販売戦略に展開してまいります。

医療機器市場につきましては、医療機器のODM需要の拡大が見込まれるとともに、開発した医療機器のOEM供給が堅調に推移するものと予想されます。

当社は2025年10月に設立70周年を迎えることができました。これもひとえに、永年にわたりご支援を賜りました株主様をはじめ、お客様、パートナー企業、地域社会の皆様の温かいご厚情の賜物であり、心より厚く御礼申し上げます。

創業以来、磨き上げてきた技術、人、「モノ造り魂」の伝承に更なる磨きをかけて、企業としての礎を固め、「創造と開拓」の社是のもと、私たちはこれからも強い魂をもって、果てしなく挑戦し続ける企業として歩みを進めてまいります。

そしてTEAM TAKATORIとして、変化の激しい時代においても一丸となり、世界から必要とされる企業体であり続けることをここに誓います。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

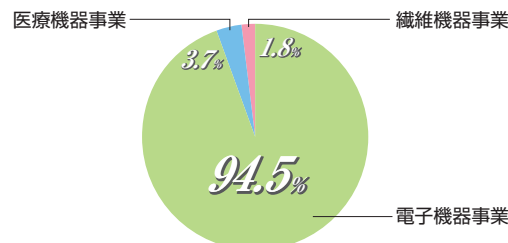
当連結会計年度における世界経済は、底堅い成長を維持しております。一方、米国による関税政策を発端とした景気の下押し圧力が強まり、また、金融市場の混乱および地政学リスクの高まりが懸念され、景気の減速が見込まれております。

米国では、企業収益や投資余力の縮小が設備投資を押し下げており、また、コア財価格の上昇による価格転嫁に伴うインフレ率の上昇が懸念されております。欧州では、米国の関税政策が製造業の生産活動の重石になっている一方で、内需の下支えにより底堅く推移し、景気の底割れは回避される見通しであります。中国では、政府による補助金の効果低減等による内需の減速がみられるのに対し、米国以外を対象とした輸出増加が続き外需の持ち直しがみられますが、先行きは駆け込み輸出の剥落により、内外需ともに景気の減速が予想されております。

一方、国内経済は、緩やかな景気の持ち直しがみられるものの、通商政策をめぐる不確実性を起因とした輸出の減速や、企業収益の減少を背景とした設備投資の弱含みが予想されております。

このような経済環境の中、当社グループが関わる電子部品業界におきましては、企業収益の減少を背景に投資が弱含む見通しとなっております。

#### ■ 売上高構成比



### 電子機器事業

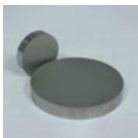
#### 半導体製造機器

半導体製造機器では、海外ユーザーへのパワー半導体やアナログ半導体製造装置および電子部品製造装置の販売が増加し、また、国内ユーザーへのパワー半導体や電子デバイス等の製造装置の販売が堅調に推移いたしました。



#### 新素材加工機器

新素材加工機器では、2025年当初よりパワーデバイス向けSiC市場の生産量は停滞傾向にあり、当面は同様の状況が続くとみられております。流通しているSiCウェハのサイズは6インチから8インチへ徐々に移行が進む中、切断加工機における当社製品のシェアは維持しておりますが、新規装置を導入するほどのSiCウェハの生産量増加には至っておらず、大型な設備投資が行われていない現状から受注額および販売額は低調に推移いたしました。



#### ディスプレイ製造機器

ディスプレイ製造機器では、XRデバイス関連の製造装置に加え、ディスプレイ製造機器で培った技術を転用した電子部品材料の製造装置や電池用の組立関連装置などを販売しましたが、一部の装置受注が計画を下回ったことから、販売額は低調に推移いたしました。



### 医療機器事業

医療機器事業では、他の医療機器並びに健康機器メーカーと連携し、継続的に医療機器および健康機器の開発を行っており、新たに開発完了した健康機器のOEM供給を開始しました。また「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」について学会出展や企業セミナーを開催し、医療機関への販売及びレンタル、試用貸出しを行っており、販売額は堅調に推移いたしました。



### 繊維機器事業

繊維機器事業では、海外生産品の増加に伴い国内のアパレル産業は依然として厳しい状況が続いており、裁断装置への新規設備投資に慎重な姿勢が見られたことから、販売額は低調に推移いたしました。



連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (2025年9月30日現在)	前期 (2024年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	12,973,691	14,790,688
固定資産	2,938,230	2,654,943
有形固定資産	1,856,506	1,974,312
無形固定資産	18,418	19,337
投資その他の資産	1,063,304	661,294
資産合計	15,911,921	17,445,631

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2024年10月 1 日から 2025年 9 月30日まで)	前期 (2023年10月 1 日から 2024年 9 月30日まで)
売上高	7,330,581	16,082,270
売上原価	4,961,481	11,779,759
売上総利益	2,369,099	4,302,511
販売費及び一般管理費	1,548,651	1,515,683
営業利益	820,447	2,786,827
営業外収益	88,931	69,553
営業外費用	57,688	97,546
経常利益	851,690	2,758,834
特別損失	30,383	—
税金等調整前当期純利益	821,306	2,758,834
法人税、住民税及び事業税	107,888	770,919
法人税等調整額	128,538	50,022
親会社株主に帰属する当期純利益	584,879	1,937,892

(単位：千円)

科目	当期 (2025年9月30日現在)	前期 (2024年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	5,584,240	7,447,512
固定負債	61,085	70,568
負債合計	5,645,325	7,518,080
純資産の部		
株主資本	10,177,386	9,825,409
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	7,894,606	7,528,132
自己株式	△32,771	△18,274
その他の包括利益累計額	89,208	102,141
純資産合計	10,266,595	9,927,550
負債純資産合計	15,911,921	17,445,631

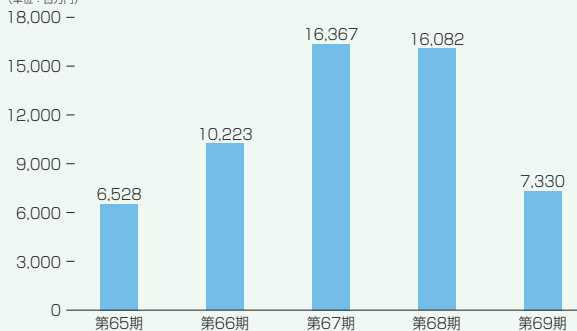
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2024年10月 1 日から 2025年 9 月30日まで)	前期 (2023年10月 1 日から 2024年 9 月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△916,993	213,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△428,876	146,639
財務活動によるキャッシュ・フロー	183,354	1,475,357
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,242	△8,928
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,154,272	1,826,854
現金及び現金同等物の期首残高	6,264,669	4,437,815
現金及び現金同等物の期末残高	5,110,396	6,264,669

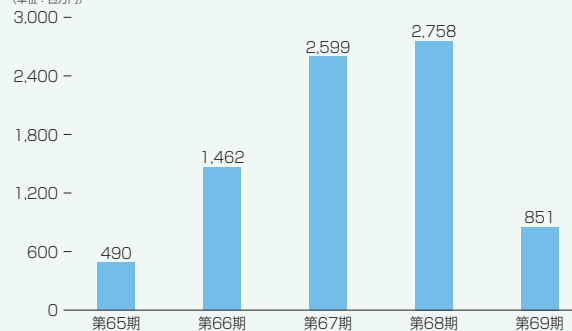
## 売上高

(単位：百万円)



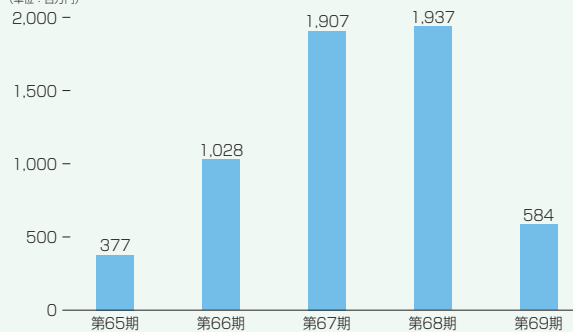
## 経常利益

(単位：百万円)



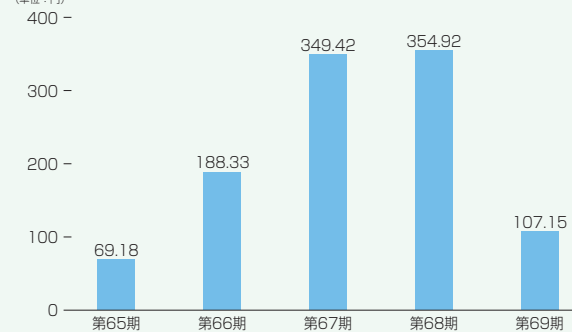
## 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



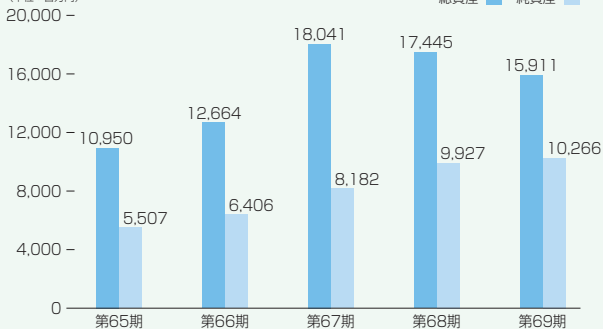
## 1株当たり当期純利益

(単位：円)



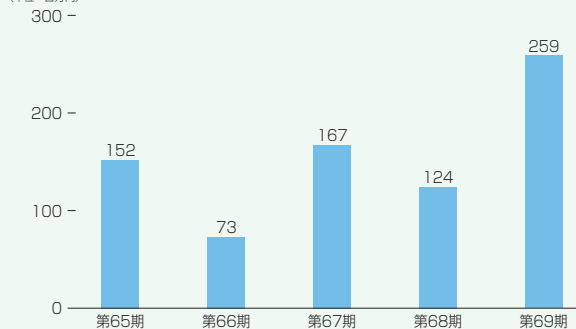
## 総資産／純資産

(単位：百万円)



## 研究開発費

(単位：百万円)



Thanks!  
70th

## おかげさまで当社は70周年を迎えることができました

## 電子機器事業

AI、IoT・自動運転などに採用されている次世代メモリー、パッケージング技術等、新たな分野の開発に挑戦しております。

創立70周年の節目を記念し、ロゴマークを制作しました。

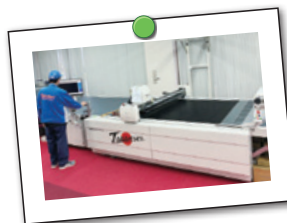


CREATION & INNOVATION  
Forever

第70期はこのロゴを広く活用し、皆様とともに盛り上げてまいります。

## 繊維機器事業

裁断機の使用にあたり必要な手作業も含め、作業工程の自動化を目指し、開発を進めております。



## 医療機器事業

複数の大手医療機器メーカー様よりODMを受託しており、完了後はOEMへの展開と、事業拡大を目指しております。

新素材加工  
機器事業

切断加工ロスを低減する製品や加工技術の提案と、切断加工物や寸法の多様化に先んじた製品展開を進めております。



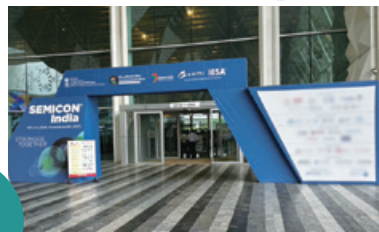
## From Taipei, Taiwan //

9月17日  
～19日

「SEMICON Taiwan 2025」に出展いたしました

アジア圏の当社販売代理店であるTOYO ADTEC社のブースで、半導体製造の各工程に対応した装置のパネル展示を行いました。また、東栄電子社のブースでは、ワイヤーソーや研削機のパネル展示を行い、当社製品をPRいたしました。ご来場ありがとうございました。今後も革新的な製品と最先端技術を提案してまいります。どうぞご期待ください。

## From New Delhi, India //

9月2日  
～4日

「SEMICON India 2025」に出展いたしました

インド国内で初めてのパネル出展をいたしました。350社以上が出展し、モディ首相がブース見学とスピーチをされ、48か国から30,000人超の来場と、25,000件超のオンライン視聴があるなどの盛況ぶりから、インド半導体市場の革新へ期待が高まりました。

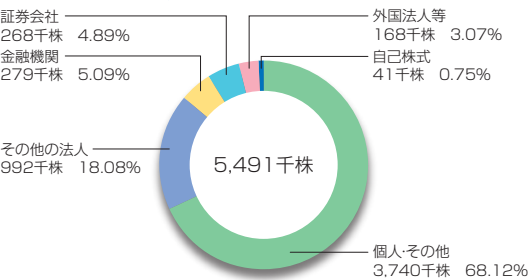
株式の状況 (2025年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	17,000,000株
■ 発行済株式の総数	5,491,490株
■ 株主数	7,288名
■ 大株主	

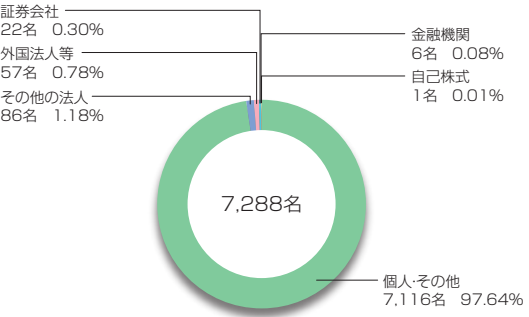
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社コトブキ産業	347	6.38
タカトリ共栄会	263	4.83
大阪中小企業投資育成株式会社	187	3.44
高鳥政廣	143	2.63
岩崎泰次	138	2.55
岡島恵子	117	2.16
株式会社南都銀行	95	1.74
日本生命保険相互会社	94	1.73
株式会社会日伝	82	1.52
三菱UFJスマート証券株式会社	69	1.27

(注) 持株比率は自己株式(41,021株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式数分布状況



■ 所有者別株主数分布状況



会社概要 (2025年9月30日現在)

■ 商号	株式会社タカトリ
■ 本社	奈良県橿原市新堂町313番地の1 TEL.0744-24-8580 FAX.0744-24-6616
■ 営業所	徳島営業所 徳島県徳島市佐古三番町7-9

■ 子会社	高鳥(常熟)精密機械有限公司 中国/江蘇省常熟市碧溪街道万盛路9号4幢101室
-------	--

(注) 2025年7月25日開催の取締役会において、高鳥(常熟)精密機械有限公司の解散決議を行い、2025年12月に清算終了予定であります。

■ 設立	1956年10月
■ 資本金	963,230千円
■ 代表者	代表取締役社長 増田 誠 代表取締役副社長 松田 武晴

■ 従業員数	198名(グループ従業員数 201名)
■ 事業内容	電子部品製造機器の製造及び販売、繊維機械の製造及び販売、医療機器の製造及び販売

役員 (2025年12月19日現在)

■ 代表取締役社長	増田 誠
■ 代表取締役副社長	松田 武晴
■ 取締役	重富 謙一
■ 取締役	正岡 智明
■ 取締役(社外)	川村 真
■ 常勤監査役	大島 章良
■ 監査役(社外)	岸部 輝一
■ 監査役(社外)	野島 佳枝

(注) 野島佳枝氏の戸籍上の氏名は、大北佳枝であります。

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	①定時株主総会 9月30日 ②剰余金の配当（期末） 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
証券コード	6338
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告とする。 当社ホームページ（ <a href="https://www.takatori-g.co.jp">https://www.takatori-g.co.jp</a> ） ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子 公告による公告をすることができない場合は、日本経 済新聞に掲載して行う。

（ご注意）

- 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内  
<https://www.takatori-g.co.jp>



Facebookのご案内



株式会社タカトリ  
The Power of "T"  
Technology Trust Teamwork

奈良県橿原市新堂町313番地の1